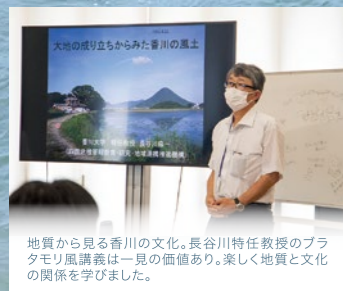


Project

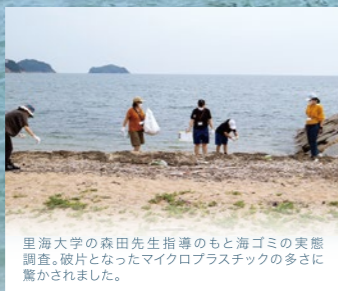
令和4年度から香川県、東京藝術大学および香川大学は「芸術文化の提供」と「文化芸術を担う人材育成」を目標に香川県の高校生とアーティストでチームを編成し、リサーチから作品コンセプトに至る過程、制作、展覧会までを協働する東京藝術大学瀬戸内海分校プロジェクトを始動しました。

香川県 × 東京藝術大学 × 香川大学

東京藝術大学瀬戸内海分校プロジェクト「海は人を愛する」



地質から見る香川の文化。長谷川特任教授のプラタモリ風講義は一見の価値あり。楽しく地質と文化の関係を学びました。



里海大学の森田先生指導のもと海ゴミの実態調査。破片となったマイクロプラスチックの多さに驚かされました。



瀬戸内海歴史民俗資料館。通常は立ち入りできない秘蔵コレクション倉庫の収蔵資料の解説も。驚かされました。



どのような作品を作るのか。アーティストとのディスカッションは視野の広さや着眼点の鋭さを学ぶ機会になりました。



香川大学庵治マリンステーションにある大学の調査船に乗船して水中ドローンを使って海中観察。



12月の展覧会場になる三木町池戸公民館にて歴史解説。山間部の三木町と海の繋がりを学びました。



後半はリサーチで学んだことをまとめ、作品制作に向けて各チームで作業を行いました。



リサーチ最終日はリサーチで得た作品のヒントをまとめて発表しました。それぞれのチームがユニークな視点で瀬戸内海の発表を行いました。

このプロジェクトは、「海は人を愛する」をテーマに香川大学の瀬戸内海に関する研究と東京藝術大学のアートを融合し作品を制作するプロジェクトです。香川県の高校生とアーティストでチームを作り、リサーチ、制作、展覧会発表に至る一連の文化芸術活動を体験します。プロジェクトのひとつ目のフェーズであるリサーチは、令和4年8月22日から27日に行われました。香川大学の海洋環境や地質の研究者、瀬戸内海の民俗文化、海ゴミ専門家、瀬戸芸作家から瀬戸内海や里海についての解説や現地調査を行いました。

リサーチの目玉は香川大学が保有する調査船に乗船する海洋調査です。末永創造工学部長が特許を取得した人工魚礁を水中ドローンで船上観察。プラタモリにも出演した長谷川特任教授の講義では、讃岐のうどんがなぜ美味しいのかについて地質学的視点からの解説がありました。歴史・文化・環境などの多角的な視点で吸収したリサーチが終了し、これから作品の制作に取り組みます。展覧会は令和4年12月16日から25日に三木町池戸公民館で開催されます。アーティスト、高校生および香大生による瀬戸内海の表現をぜひご覧いただけますと幸いです。

左上写真：分校プロジェクトの看板も制作しました。海で拾った木の板に日比野東京藝術大学長が校名を描きました。メイン写真：日比野東京藝術大学長の瀬戸芸作品。種船も鑑賞しました。種船に乗り、かつては誰かのモノだった漂流物を収集しました。右上写真：リサーチ編修了式。これから、高校生20名、香大生6名、アーティスト3名が12月の展示に向けて制作を始めます。

Topics

香川大学のトピックス(4月～9月)を紹介します。 ※ 詳しい記事はQRコードよりご覧いただけます。

香川大生が菓子工房ルーヴと開発した希少糖スイーツが販売開始



D-アロース(希少糖の一種)の純品「アストレア」の商品化をうけ、その商品開発と希少糖の市場浸透貢献を目指し、香川大学学生プロジェクトKaNoHaProjectのメンバーが菓子工房ルーヴと希少糖スイーツを協働開発しました。特有の甘みや粉末状などの特徴を持つアストレアを活かしたアイデアの提案と検討を重ね、香川県産品素材の魅力が合わさったお菓子「スイーツコンツェルト」が誕生しました。

初の香川大学オリジナルネクタイが誕生



香川大学オリジナルグッズとして新しくネクタイが誕生しました。今回のネクタイは香川大学広報室でデザインし、香川大学生協で販売されています。ラインナップは香川大学ネクタイ：学章入りデザイン3種(キメタイ、モテタイ、輝きタイ)と、希少糖ネクタイ：イズモリング(希少糖の設計図)のデザイン2種(飛翔、瀬戸)の合計5種類です。伝統ある学歌にちなんだエピソードがそれぞれに添えられています。

瀬戸内国際芸術祭2022で「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」が公演



5月15日、瀬戸内国際芸術祭2022公式イベントで、四国村ミュージアムの農村歌舞伎舞台において『瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ「二人奥方」』を公演しました。教育学部若井教授の芸術監督・演出で、瀬戸内地域に暮らす人たちの生活から生まれた仕事歌と、きつねがなぜ四国にいないのか?を裏づけるエピソードを描いた四国初のオペラ作品「二人奥方」を昼と夜の2回公演しました。延べ400名以上の方に観劇いただき、大盛況のうちに終了しました。

亀山 暁氏(プラタモリチーフプロデューサー)によるNHK大学セミナーを開催



6月29日学内者限定でNHK「プラタモリ」のチーフプロデューサー 亀山 暁氏をお招きして「地域の魅力を発信する」というテーマでNHK大学セミナーを開催しました。亀山氏からは「地域に必ずある『固有のもの』を探し出し、ストーリーを上げることが面白い番組作りには欠かせない」とお話がありました。番組で案内人を務めた長谷川特任教授と西成教授も交えて制作の裏話を語っていただき、盛大な拍手の中で終了しました。

SUIJI国内サービ斯拉ーニング2022小豆島を開催



コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2年間休止していたSUIJI国内サービ斯拉ーニングが関係者の方々の協力のもと再開し、8月16日から25日までの10日間プログラムを実施しました。香川大学生、インドネシアの大学生(IPB、UGM、UNHAS)が小豆島中山地区を対象としてディスカッションや棚田を中心とした調査、地域住民との懇談を行いました。最終日には活動総括として英語でオンライン発表会・討論会を実施し大いに盛り上がりました。

創発科学研究科社会人大学院生と学長との座談会を開催



8月30日に創発科学研究科で学ぶ社会人大学院生の姿を学内外へ広報するため、大学院教学センターでは筑学長と創発科学研究科に入学した社会人大学院生7名の座談会を開催しました。参加した社会人大学院生からは、働く女性の大学院進学が容易になる仕組みづくりや夜間開講を増やしてほしい等、社会人ならではの視点から提案がなされ、活発な意見交換が行われました。

香川大学支援基金 ●ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます

ご寄附の方法が選べます

- クレジットカードや振込用紙など寄附方法をお選びいただけます。ご利用いただけるクレジットカードの種類は支援基金のホームページをご覧ください。

香川大学から感謝を込めて

- ご寄附いただいた方全員 ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載いたします。
- 個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方 感謝状と記念品の贈呈/銘板による顕彰(ご芳名の銘板を学内に掲示し、末永く顕彰いたします。)

詳しくは、香川大学支援基金ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>

